

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

不祥事根絶のための行動計画

尾道市立三幸小学校  
作成責任者 校長 藤井 弘之

三幸小学校 不祥事0宣言！

- 1 私たちは、法令を遵守します。
- 2 私たちは、教育公務員としての職責を自覚します。
- 3 私たちは、保護者・市民に信頼されます。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修では、伝達指導の研修が一部ある。</li> <li>○若手教職員が増え、サービス規律の徹底を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的に研修を実施し、効果的な内容を工夫する。</li> <li>○実践的な研修を通して、教育公務員であるという自覚を強く持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロールプレイなどの体験的な研修を行う。自分事として考える内容や形態にする。（ふり返りを書く等、自己を見つめる場の設定）</li> <li>○主任・主事が中心となって、職員全員が課題意識を持つよう、各部担当方式で定期的なサービス研修を繰り返し行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎学期末にサービス研修の内容について点検する。</li> <li>○毎回の研修後に、振り返りを行う。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校全体として「決めごと」の共有化はできているが、徹底が不十分である。</li> <li>○確認不足によるミス等、ヒヤリハットが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションを促進する。</li> <li>○小さなミスが、学校全体の信頼を失うことになることを強く自覚する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小さな事でも、報告・連絡・相談を徹底し、情報の共有化と徹底を図る。</li> <li>○信頼関係に基づいた自由な雰囲気、自由闊達に議論や意見の交換が出来る場を設定し、ヒヤリハットを出し合い、改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の不祥事防止委員会以外でも、課題に応じて情報交換を行う。</li> <li>○学期末に熟議等実施できたか確認する。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の活用状況が見えにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を参観日やお便りで繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> <li>○保護者へのプラスひと言の声かけを大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的にアンケートの実施、学校便りに、毎月の「いじめ・体罰・セクハラ相談日」を明記するし、再確認する。（第3火曜日）</li> <li>○相談窓口について、参観日等を使って積極的に声をかける。</li> <li>○日常的に保護者との人間関係づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎学期末に、児童、保護者を対象にアンケートを実施する。</li> <li>○教職員との面談を実施し、実態把握に努める。</li> </ul>